

射水JC

[富山]

LOM統合を終えてシニア会も2年目 現役を温かく見守りながら地域に貢献



昨年11月、旧新湊市と旧射水郡（小杉町、大島町、大門町、下村）の合併により、「射水市」が誕生し、富山市、高岡市に次ぐ富山県第3のまちとなりました。旧新湊市と旧射水郡は人口規模がほぼ同じであったことも影響し、合併に至るまでの道のりは険しく、合併の是非を問う住民投票が行われた町もありました。そのような中、旧新湊JCと旧射水JCは市町村合併に先駆けて、一昨年末にLOM統合を果たしました。

旧新湊JCは、1972年創設（認証番号489）の歴史のなかで、シニアメンバー160名を擁し、地区会長を1度、ブロック会長を2度輩出しており、とりわけ、1998年新田八朗会頭時の会頭輩出ブロックの運営を託さ



れた経験は貴重なものでした。

また、旧射水JCは、1995年創設（認証番号764）の歴史のなかで、シニアメンバー40名を擁し、LOM解散年にブロック会長を輩出しています。富山ブロックは全国的にも珍しい「1県1JC」からスタートしており、「富山県JC」が拡大分離を繰り返して現在のLOM数を有するに至っています。両LOMのスポンサーは高岡JCで、別々に暮らしている歳の離れた兄弟が一緒に暮らし始めるような感覚で、再度、高岡JCのスポンサーシップにより新生「射水JC」（認証番号778）を設立しました。

このLOM統合は、青年らしい勇氣ある行動として地域社会から評価をいただき、市町村合併の潤滑剤としての役



割を担いました。そして、現役諸君の活躍もさることながら、この動きを根底から支えたのは両JCシニアメンバーの歴史と風土に裏打ちされた見識であり、それが見事に融和した結果でした。

シニア会も統合2年目を迎え、新生「射水JCシニア会」として、これからも現役諸君の活動を温かく見守りつつ、シニア会自身もJCという大きな縁を大切にしながら、地域社会に貢献したいと考えています。

日本JCシニア・クラブ
富山ブロック担当幹事 牧田和樹